

●国際食料情報学部国際農業開発学科（高一種免（農業））

①教員養成に対する理念

国際農業開発学科では、環境保全に配慮した農業開発を推進するために必要な研究をおこなうとともに、国際的な視野で農業開発を実践する人材の育成に教育の目的をおいている。具体的には、「農業ができる人」、「途上国の開発をになう人」、「国際協力に貢献できる人」をそだてることを目標とし、これにもとづいたカリキュラムを編成している。したがって、教員養成についても、こうしたマインドを保持しつつ、各認定課程において必要な知識やスキルを有する、有能かつ人間性ゆたかな教員を輩出することをめざしている。

②教職課程の設置趣旨

中等教育に必要な総合的知識を身につけるとともに、作物の栽培と管理、農業経済および経営、農業の開発および普及など、農業およびその開発にかかわる専門的知識を習得することによって、総合的かつ実践的な農業教育を遂行できる教員を養成することを本教職課程の目的とする。

1年次で履修する総合教育科目では、大学生活の心がまえをまなび、レポート・論文などの作成技術や情報リテラシーの基礎を習得すること、中等教育の国際化に即応することを目的として、「フレッシュマンセミナー」、「共通演習」、「情報基礎（一）（二）」、「英語（一）（二）（三）（四）」を卒業要件となる必修科目として配する。また健全な心身の修練をはかることを目的として、「スポーツ・レクリエーション（一）（二）」を教職必修科目として配する。

1～3年次で履修する専門教育科目では、国際農業開発学にかかわる科目のうち、教科に関連のある「国際農業開発学総論」、「熱帯農業入門」、「熱帯作物学総論」、「熱帯園芸学総論」、「熱帯食用作物学」、「熱帯野菜学」、「熱帯果樹学」、「熱帯工芸作物学」、「農業環境科学総論」、「熱帯農業微生物学」、「熱帯土壌学」、「農業経済学」、「農業開発経済学」、「農業貿易論」、「地域農業開発論」、「農村開発政策論」、「農業経営学」、「農業開発普及論」、「農村開発社会学」、「日本農業論」、「農村開発調査論」、「ファーマーミングシステム論」、「国際農業協力論」、「プロジェクト評価論」、「農学専門実験」、「ファームステイ」、「海外農業実習（一）（二）（三）」を教職関連科目として配する。